

日中経済交流の展望および上海の役割

—上海の最新経済状況に基づいて—

2023年5月18日

講師：黄 峰 上海市外商投資協会 会長

経済広報センターは5月18日、「日中経済交流の展望および上海の役割～上海の最新経済状況に基づいて」と題する講演会を開催した。企業の幹部ら約60人が参加した。

初めに上海市人民対外友好協会の景副会長があいさつ。約3年間会合はできなかったが、オンラインでの日中交流を継続しており、今後、直接会うことを通じて日中の交流関係を強くしていきたいと述べた。

その後上海市外商投資協会の黄会長が、日中経済交流と直近の上海の状況について説明。黄氏は、共産党第20回全国代表大会後も対外開放は依然として中国の基本的な国策であると述べた。また、中国は再生可能エネルギーと省エネ、温室効果ガスの排出削減、環境保護に力を入れており、中国企業にとって日本の進んだ技術製品、生産装置が欠かせないことから、今後日中の経済交流をすすめるなかで、日本企業は同分野への投資を強化して欲しいと語った。

最後に上海の状況についても触れ、上海市、江蘇省、浙江省にまたがる長江デルタ一体化政策が進められるなか、さらなる経済発展を目指して、インフラを一層整備し、産業、人が自由に流れる仕組みの構築を加速していきたいとの考えを示し、締めくくった。

続く意見交換では、参加者から、日本以外の外資系企業と日本企業の違いについて意見が出された。これに対し黄氏は、日本企業は経済に占める割合は高いものの、欧米企業に比べ現地化が遅いと指摘。中国市場の変化は激しく、現地の企業に比べて外資系企業の情報入手ルートが限られることから、長期的な競争力を保つうえでは、現地化を進めローカルに根付くことが重要だと応じた。

以 上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。